



# NEWS

VOL.  
153

2011・1月発行

## “はじまり”と“まとめ”と

新年卯年、2011年がはじまりました。どんな思いを持って新年を迎えられましたか？ 私たちは節目に際し、新たな可能性を目指して夢や希望を抱き、進むべきストーリーを描いてそれに向っていきます。皆さんにとって、本校にとって、この一年が素晴らしい年であることを心から祈っております。

さて、今年度も本校では、4つの教育目標（21世紀型高学力の養成、国際性の涵養、創造力の錬磨、人間力の育成）に基づいて様々な取り組みを行いました。その結果、多くの成果を上げ

ることができました。体育祭や文化祭、各学年などの行事においてはもちろんのこと、野球部、硬式テニス部、陸上部の全国大会出場などのクラブ活動の活躍も顕著でした。

新年度まで残り2カ月余りとなりました。いくつかの『なぎさスタンダード』のあり方、生活の中の“オンとオフ”の切替を意識することなどを再度振り返りながら、次年度に繋がるような今年度のまとめの作業を行っていきましょう。

校長 白岩 博明

高Ⅲ 遠足

**春** - spring -

高Ⅱ カヌー

高Ⅱ マーシャル

高Ⅱ 屋久島

高Ⅱ 陸上全国大会

高Ⅲ 体育祭

高Ⅲ 体育祭

高Ⅲ 入学式

高Ⅲ 入学式

高Ⅱ カヌー

高Ⅱ マーシャル

高Ⅱ 屋久島

高Ⅱ 陸上全国大会

**夏** - summer -

中1校外学習

高Ⅱ 沖繩

**秋** - autumn -

中2研修旅行

文化祭

高Ⅰ 夜間歩行

中3学習合宿

高Ⅱ 新潟

**冬** - winter -

高Ⅱ スキー

あと残されている行事

- マラソン大会
- 自己表現力コンテスト
- 卒業式

社会人講演会

CONTENTS

- 新年の挨拶 ..... 1
- 第46回文化祭 ..... 2
- 高Ⅱ 研修旅行 ..... 3
- 高Ⅰ 夜間歩行 ..... 4
- 中2研修旅行 ..... 4
- 中3学習合宿 ..... 4
- 大学入試合格速報 ..... 5
- 高Ⅰ 社会人講演会 ..... 6
- 各賞受賞 ..... 6
- CLUB NEWS ..... 6

「来場者の方々に楽しんで頂きたい」、「可能性は無限大」という2つの思いを込めた「夢幻」というテーマのもと、第46回文化祭が開催されました。

昨年度はインフルエンザの影響で実施できなかった第一日、体育館での校内発表では、どの団体も当日まで練習を重ねた成果を発揮し、観客を魅了する演技を披露しました。第二日目は、各クラス・団体の趣向を凝らした企画展示が行われるとともに、グラウンドでは、今回初の試みである巨大モザイクアートの展示が行われ、中庭や体育館、シェルホールでのステージ発表も合わせて、大変活気にあふれた一日となりました。

二日間で4000名を超えるお客さまにご来校いただき、広島なぎさ中学校・高等学校の無限の可能性を感じ、夢のような楽しい時間を過ごしていただいたのではないかと思います。

## グラウンド



白岩校長のモザイクアート



書道部大書



水育 ～水について～



大江戸城 ～なぎさの陣～



エイムズルーム



ピタゴラ装置組み立て中



モザイク画



おかけ屋敷

## ステージ



「STOMP X DANCE」



劇「TREASURE!」



ダンス「DReaM★TiCkeT」



ミュージカル「MUSIC★ISLAND」



第3回クイズ王選手権



## 教室展示



飛び出す3D明日香



鳥居をくぐる散歩道

中2  
研修旅行展



遣唐使船（船長5m）



座禅体験

## 高Ⅱ 研修旅行 沖縄・伊江島ホームステイ体験コース

### 沖縄・伊江島

日程／平成22年10月10日(日)～15日(金)



体験場にて三線入門

那覇空港到着時から南国の日差しが照りつけるなか、県北部にある伊江島での研修旅行に30名の生徒が参加しました。

太平洋の大海原を眺めながら、平和祈念資料館にて沖縄の歴史を学んだあと、フェリーにて伊江島へ。2名1組が各家庭で4泊5日のホームステイを行いました。

それぞれの家庭では、沖縄料理や伝統舞踊、貝細工作り、三線(三味線)演奏、農作業(島ラッキョウ・落花生)、家畜の世話など、その地ならではの体験をしました。

ゆっくりとした時間の流れのなかで、自然の豊かさを満喫しつつ、本当の家族のように受け入れていただいた島の方々の優しさと明るさに、人と人のつながりを強く感じた研修でした。



家業の手伝い 畜舎にて

夏のような暑さの中、沖縄料理を味わったり、三線を教えてもらったりと沖縄でしかできない体験をたくさんしました。伊江島の方々はとても温かく、別れの時は涙が止まりませんでした。私にとって伊江島の方々との出会いや経験は一生忘れられない大切な宝物です。 II年1組 金本真帆

綺麗な海や健康的な食事、たくさんの人々が亡くなった戦地とそれを感じさせない島の人々との明るさ。5日間で沖縄の魅力を感じました。そして広島とは全く異文化な伊江島が大好きになりました。私たちを家族同様に受け入れ、高校時代の最高の思い出を作ってくださった温かい島の人たちにとっても感謝しています。 II年3組 村木英里子

## 高Ⅱ 研修旅行 北海道スキー体験コース

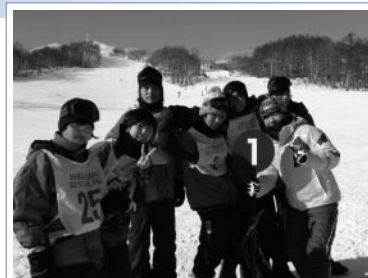
### 北海道

日程／平成22年12月23日(木)～28日(火)



インストラクターの先生と一緒に

千歳空港に到着すると、そこは雪国、銀世界。サケのふるさと館という博物館で北海道のサケの生態を学んだ後、昭和新山も見学しました。山の活動を見た後は、この旅でお世話になる旅館に移動し、美味しい料理と温かい温泉に癒されました。2日目からは、本格的にスキー研修がスタート。最初は歩く練習、転ぶ練習から。徐々に慣れてくると、みんなスキーらしくなってきました。最終日には参加した42名全員が各々のバッジテストに見事合格しました。雪山で頑張る仲間、お互いを励まし合う声。仲間とのつながりを感じられる研修旅行でした。



ゲレンデでパチリ

私は、この北海道の研修旅行に参加するまで、一度もスキーをしたことがありませんでした。あまり運動も得意でないし、研修旅行の間に嫌になったらどうしようとも考えていました。だけど、実際に4日間スキーをしてみると1日の実習の時間がとても短く感じられたし、はじめはリフトに乗るのも怖々で斜面に止まるのもやっとなかったのが、だんだんと上達していくのが自分でも分かりました。友達も最後の日にはフリーでスイスイ滑れるようになったので、今回、この研修旅行に参加して本当に良かったと思いました。 II年1組 中原由貴

4日目は最後のスキー研修だった。翌日のバッジテストに向けて必死に上手に滑れるように努力した。講師の方は「合格するよ。」と僕達をなぐさめてくれたが、さすがに不安だった。3日間でだいぶ上達したとは感じていたが、合格できるかどうかは全く分からない状態だった。いつも通りに本番でも滑ることができたので、良かったし、合格できて嬉しかった。また、みんなで合格できたことで友達との親睦を深めることができたと思う。 II年3組 故選有矢

## 高Ⅱ 研修旅行 越後妻有・雪国の暮らしにゆったりひたる旅

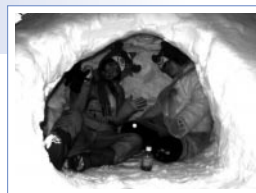
### 新潟・妻有地域

日程／平成22年12月23日(木)～28日(火)



「かんじき」を履いて  
ブナ林を散策

世界有数の豪雪地帯といわれる越後妻有(新潟県十日町市)へ到着したとき、積雪はほとんどありませんでした。しかし、その日の夜半から「雪起こし」とよばれる激しい雷鳴が轟き、地元の方の予想通り激しい降雪が始まりました。農家でのホームステイ初日には一晩で70cmを超す大雪となり、家族と一緒に雪かきで汗を流した生徒も多かったようです。雪に閉ざされた中で、雪の怖さや雪国独特の文化を身をもって体験することができました。そして何より受け入れ農家の方々の心のこもった温かいもてなしに、参加者全員心を打たれたようです。現地では過疎や村おこしなどについてのレクチャーを受け、白銀の中でのスキー、かんじきを履いての山歩きなどを体験しました。降雪日以外は好天に恵まれ、日頃味わえない雪国での暮らしを十分に満喫できた6日間となりました。



念願だった「かまくら」も作りました

この6日間で一番思ったことは「温もり」です。妻有の人々は私たちを家族のように迎えてくれ、おじいちゃん、おばあちゃんたちの笑顔はいつも安心を与えてくれました。雪の中での生活は楽しいだけではなく、雪のもたらす「恐ろしさ」も痛感しました。そして食事に出てくるものほとんどが、手づくりで愛情いっぱいでした。この研修旅行で「温もり」と「恐ろしさ」という二つのことを知ることができ、妻有の人々には感謝の気持ちでいっぱいです。 II年1組 岩本真衣

この研修旅行に行く前までは、越後妻有については全く無知で、特に異文化については期待していませんでした。しかし、実際に行ってみるとそこには予想をはるかに超えた雪景色が一面に広がり、同じ日本とは思えませんでした。その一方で多すぎる積雪による過酷な除雪作業があったり、過疎化で困る人々がありました。そこででの生活の中で雪国妻有の人々の様々な工夫をたくさん見ることができ、自分の考えていた日本について、さらに視野を広げることができた研修でした。 II年3組 服部珠子

# 高I 夜間歩行

## 広島県尾道市生口島～愛媛県今治市糸山公園来島海峡展望台

日程／平成22年10月8日(金)・9日(土)

今年は降りしきる雨の中、レインコートを着用しての43.4kmの夜間歩行となりました。8日の午後、翌朝のゴールを目指してクラスごとに出発です。最初は友達との会話に夢中になり、元気に歩いていましたが、時間の経過とともに「辛い。」「足が痛い。」という言葉が口にするようになっていきました。また、あれだけ楽しみにしていた美しい夕日も、満点の星空も、真っ赤に燃える朝日も、すべて雲に覆われてしまい見ることができないということで、ひどく落胆していました。

しかし、そのような過酷な状況の中でも、「絶対に全員で歩ききたい」という想いを持ち、互いに励まし助け合って歩いていました。過酷な状況での歩行だからこそ、お互いを結ぶ「絆」の強さ、仲間の大切さやありがたさを実感したようです。また、辛い状況でもリタイアせずに歩ききったという事実が、大きな自信になりました。この夜間歩行は、今後の人生の大きな糧となったことでしょう。



歩行時の様子



完歩

今回の夜間歩行で今までに感じたことのない精神的な苦痛を感じた。いくら歩いてもゴールが見えず、それに雨も降っていても不快な気持ちになっていた。そして、最後の休憩場所で疲れ、足の痛み、精神的苦痛でリタイアしてしまい、とてもやりきれない気持ちがある。もうちょっと我慢していればと悔やんで、もう一度やりたいという気持ちもあるし、やりたくないという気持ちもある。夜間歩行では、今までに経験したことのない気持ちを感じることができた。自分が考えたのは、先が見えないから辛い、だから将来のことも先が見えるようにすれば気持ち的に楽になるのだと思った。 I年4組 新中 健太

# 中2研修旅行

## 奈良・京都

日程／平成22年10月11日(月)～14日(木)

「『つながり』と『広がり』を意識しよう!」という目的のもと、中学2年生232名は汗ばむほどの陽気の中、密度の濃い4日間を奈良・京都で過ごしました。

例年に比べ、2日目の「平城京遷都1300年祭」見学、タクシー研修では神社仏閣に加えて食や芸術など



着物で街歩き

京都ならではの文化巡り、コース別研修には「伝統工芸士による紋章・友禅作り体験」、「着物で街歩き」などの新コースと、盛りだくさんの内容でした。かなり過密であったものの、集団生活のルールとマナーがしっかり守れており、2年間の成長ぶりを実感しました。

この研修旅行を通じて、時代や人、文化など様々なつながりを意識し、様々な経験を次のステージへつなげ、広げていく力を身に付けることができた4日間でした。

私は研修旅行で何を学んだのか。色々な場所に行って色々な話を聞いて「なるほど!」と思ったことも一つです。ですが、私が今回、もっと大きく学んだ事。それは、なぎさ09生の皆と、クラスの皆と、班の皆と…。そんな風に皆とこの4日間を過ごした事により、集団行動の大切さを学びました。

後期では、この4日間学んだ事を活かしつつ、新たな事にチャレンジし、色々な新しい経験を積み重ねていきます。 2年2組 國光 綾美

今回の研修旅行では、たくさんのお坊さんの話を聞くことができました。お坊さんの話の中には必ずと言っていいほど、「人への感謝の心を忘れずに」、「努力する人にこそ幸福が訪れて、努力しない人には何も来ない」、「人に何かをすれば必ず自分に返ってくる」という言葉が入っていました。お坊さんは厳しい修行を積む中で、僕の何倍も厳しい体験をされてきたので、言う事一つ一つがとても重かったです。 2年4組 山手 敦史

# 中3学習合宿

## 大学沼田校舎

日程／平成22年10月13日(水)～15日(金)

自学力と進路意識、そして主体的に行動する力を高めるために、沼田校舎において2泊3日の学習合宿に臨みました。

朝から晩まで学習漬けのプログラムをこなした3年生。外部講師や高Ⅲの先輩たちの講演を聞いて意識を高め、主要科目の強化、苦手科目のフォローに取り組みました。生活面でも、共同生活の中で身の回りの整理やチャイムのない生活での時間の守り方に気をつけ、初日より2日目、さらに最終日と、日に日に目に見えて成長する様子が見られ、学びの多い3日間になりました。



集中して問題に取り組み、苦手科目の克服を目指しました

達成感がある。初めは長く感じていたけど、終わりに近づくにつれて「ここまでやったぞ!」という嬉しさがこみ上げてきた。家でも勉強した後にこんな気持ちになれば、勉強が楽しくできるんじゃないかと思った。終わった後のご飯は格別だった。これからは集中して勉強ができると思った。

多分一日の半分を勉強に費やしたのは、久しぶりだと思う。でも、受験シーズンになると、学習合宿の2日目が毎日続くようなものだ。センター試験の範囲を僕たちはもう学び始めているので、一日一日を真剣に、大切に使っていこうと思った。 3年5組 土井 司

学習合宿は、本当に勉強漬けの毎日でしたが、この3日間で得たことは教科のこたけではないと思っています。

例えば、部屋で過ごしていたとき、自分の荷物が案外すっきりしていることに気づきました。これまでオリゼミなど何回か宿泊を伴う行事がありました。そのときは服などがぐちゃぐちゃになっていて最終日にずいぶん苦労をしました。しかし、今回はそのようなこともなかったため、すぐに部屋を出ることができました。ここに書いたことは客観的に見たら「なんじゃそりゃ」と思われるかもしれませんが、これら僕が3日間の合宿で得た学びです。 3年4組 小山 稔史

# 大学入試合格速報

1月15日(土)・16日(日)に大学入試センター試験が終わり、高校3年生は、今や私立大学入試、国公立二次試験に向けてラストスパートをかけています。そんな中で一足早くAO入試や推薦入試などで将来の夢への第一歩を踏み出した生徒もいます。勉強や進路について模索している中学生や高校生のみならず、先輩たちのメッセージをしっかりと受け止めて、先輩の後に続きましょう。



## 吉田 裕子 (Ⅲ年2組)

**大学名** .....  
国際基督教大学 教養学部  
アーツ・サイエンス学科

**志望動機** .....  
大学に入ってから2年後に分野選択ができる制度により、自分の本当に学びたい分野を見つけることができるから。また、英語をツールとして学ぶところに魅力を感じる。

**試験内容** .....  
小論文・面接

**勉強方法** .....  
学校の授業や定期考査を大切に、ノートをきれいに作るように心がけた。また、分からないところは分かるまで先生に質問をしに行った。

**高校時代にやっておいて良かったこと** .....  
ニュージーランド語学研修、マーシャル諸島への研修旅行。海外で異文化に触れることで、価値観が変わり、自分の可能性が広がった。

**高校時代にやっておけば良かったなあとと思うこと** .....  
本や新聞を毎日読むこと。

**後輩へのメッセージ** .....  
失敗を恐れず、積極的に様々なことに挑戦してみてください。そして、何より学校生活を楽しんでください。



## 中富 聖平 (Ⅲ年2組)

**大学名** .....  
早稲田大学  
政治経済学部 国際政治経済学科

**志望動機** .....  
英検1級合格後、自信が持てたから。早稲田政経とはどんなところなのか興味があったから。志望を決めたのは高Ⅲの6月。

**試験内容** .....  
日本語と英語の小論文・面接

**勉強方法** .....  
新書を読む。特に話題になっているものは必須。テレビのニュース番組・解説番組なども使える情報がないか探す。勉強勉強と思いつめないうち。

**高校時代にやっておいて良かったこと** .....  
読みたい本を読み、食べたいものを食べて、聴きたい音楽を聴いて、やりたいことをやることができた。

**後輩へのメッセージ** .....  
考えて行動する、ということだけは意外、できているつもりでもできていない人が多いと思います。しかし、それが一番重要です。



## 田鍋 光平 (Ⅲ年1組)

**大学名** .....  
関西大学  
人間健康学部 人間健康学科

**志望動機** .....  
関西で一番テニスが強い大学だったから。保健体育の教員になるのが夢で、自分のなりたい教員に必要なものが得られると思ったから。志望を決めたのは、高Ⅲの夏休み。

**試験内容** .....  
1次:書類・2000字の志望理由書  
2次:面接・小論文

**勉強方法** .....  
部活を最後までがんばりたいと思っている人でも、いろいろな受験方法があるので、先生と話し合っ自分合った受験方法を探してみようと思う。そのために、自分がやると決めたことには一生懸命打ち込むことが大切だと思う。

**高校時代にやっておいて良かったこと** .....  
テニス部で部長をしたこと。

**後輩へのメッセージ** .....  
部活の大会や入試の時には、今まで自分がやってきたことに自信を持ちましょう。努力の分だけ結果が返ってくるのは本当でした。



## 福岡 奈織 (Ⅲ年1組)

**大学名** .....  
広島大学 総合科学部  
総合科学科 (AO入試)

**志望動機** .....  
何でもできる学部を選んだ。でも、ずっと漠然と世界に出たいなと思っていて、今は国際協力を通じて“ほっこり”を生み出すことと、ヒロシマと世界をリンクさせたいと思っている。

**試験内容** .....  
小論文(30分程度の講義を受けて、それについて200字1題・400字2題)・面接

**勉強方法** .....  
定期考査を大切に、区切り区切りでしっかり固めるようにしていたのがよかった。小論文や面接に関しては、電車通学中に考えごとにふけていたことが、意外と自分の意志を言葉にするのに役立ったと思う。

**高校時代にやっておいて良かったこと** .....  
部活。引退してからも、1つのことを粘って続けたことと、苦しかった後の喜びを知っていることが、大きな自信となった。文化祭や体育祭、学校行事やそれ以外にも何でも積極的に取り組んだことも大きな財産となった。

**高校時代にやっておけば良かったなあとと思うこと** .....  
本や新聞を読んでおくべきだった。あまり読んでいなかったのが苦労した。

**後輩へのメッセージ** .....  
やればできます。やらないとできません。将来のことが不安で...という人がたくさんいると思う。将来こうなったら嫌だ、こうなったらどうしようってたくさん悩むと思います。でも、将来のことは将来の自分が決めることです。悩む暇があったら“今”のベストを“今”の自分なりに尽くすこと!それに限ります。



## 福長 莉奈 (Ⅲ年4組)

**大学名** .....  
東京医科歯科大学 医学部  
保健衛生学科 看護学専攻

**志望動機** .....  
オープンキャンパスで講演をされた先生にとてほひかれ、その先生のもとで学びたいと思ったから。志望を決めたのは高Ⅱの冬頃。

**試験内容** .....  
小論文(120分)・面接

**勉強方法** .....  
「あたり前のことをしっかりやる」ことを心がけてきた。センター試験は高Ⅰ・Ⅱの内容がほとんど。だからこそ高Ⅰの時からしっかりと授業の内容を理解しておく。毎日出された宿題をその日のうちにやる癖をつけていたら、高Ⅲになっていざ受験勉強にとりかかる時にすんなり切り替えられると思う。

**高校時代にやっておいて良かったこと** .....  
バトン部で活動したこと。部活を通してチームワークの大切さや自信など多くのものを得たが、一番大きかったことは、これからの将来に必ずと信頼できる親友ができたこと。また、部活で得た経験は、将来社会に出て働く際にも役立っていると思う。

**高校時代にやっておけば良かったなあとと思うこと** .....  
暇な時間に英語を聴くなど、積極的に英語に触れておけばよかった。どの入試でも英語はほぼ必須科目だと思うので、早いうちから単語を覚えて語彙を増やし、速読の練習をしておいて損はない。

**後輩へのメッセージ** .....  
受験の1年は短いですが、高Ⅲの春からすぐ受験に切り替えるのはかなり難しいですが、自分のやるべきことをしっかりと見据えて、少しずつでもちゃんとやっていくことが大事だと思います。やれば必ずそれ相応の結果はついてくると思うので、自分のできる限りの力を出せるようにがんばってください。



## 小林 慶太 (Ⅲ年1組)

**大学名** .....  
同志社大学  
政策学部 政策学科

**志望動機** .....  
学部の選択に悩んでいたのもあって、幅広い学問を習得できるカリキュラムに魅力を感じた。また、幼い頃過ごした京都にとても愛着があったから。志望を決めたのは高Ⅲの9月。

**試験内容** .....  
小論文(800~1000字)・口頭試問

**勉強方法** .....  
高Ⅰ・Ⅱの時は、定期考査の直前にその範囲のセンターの問題を実際に解いてみたりして、どのような形式で問われているのかを早めに知ろうとした。高Ⅲからは、演習で間違えた問題を何度も解き直した。

**高校時代にやっておいて良かったこと** .....  
部活動。意識改革からはじめ、メンバー全員で全国大会に出場したことは、協力する大切さを知ることができた。また、全国大会に出場したメンバーとはお互いに意見の衝突が多かったけれど、高Ⅲの夏まで一緒に戦ってくれたことは、とても感謝していて、高校時代の最高の思い出になった。

**高校時代にやっておけば良かったなあとと思うこと** .....  
毎日、1つや2つでもいいから英単語や古文単語を地道に覚えること。

**後輩へのメッセージ** .....  
自分で勝手に物事を決めて勉強をするのではなく、多くの先生と話をし助言をもらうのはすごく大切なことだと思います。先生から多くのことを学びながら夢に向かって前進してください。



## 小川 弘志 (Ⅲ年4組)

**大学名** .....  
早稲田大学  
教育学部 数学科

**志望動機** .....  
高校1年生の時に教えてくださった先生に感動し、自分も同じような先生になりたいと思うようになった。

**試験内容** .....  
面接・数学の筆記(90分)

**勉強方法** .....  
部活をやっていたので、時間をできるだけ上手に使えるように考えていた。

**高校時代にやっておいて良かったこと** .....  
サッカーを一生懸命にやったこと。

**後輩へのメッセージ** .....  
何か1つでいいから自分が打ち込めるものを探してください。もしそれがあれば今のうちに最善を尽くしてください。

## 2011年度入試 大学合格状況 (AO・推薦入試)

[国公立大学] 2011.1.18現在

大学	学部	学科	合格	
			男子	女子
東京医科歯科大学	医学部	保健衛生学科	1	1
広島大学	総合科学部	総合科学科	1	1

[私立大学]

大学	学部	学科	合格	
			男子	女子
国際基督教大学	教養学部	アーツ・サイエンス学科	1	1
駒澤女子大学	人間健康学部	健康栄養学科	1	1
明治大学	法学部	法律学科	1	1
	政治経済学部	政治学科	1	1
早稲田大学	政経学部		1	1
	教育学部	数学科	1	1
同志社大学	政策学部	政策学科	1	1
龍谷大学	文学部	史学科	1	1
	法学部		1	1
関西大学	人間健康学部	人間健康学科	1	1
関西外国語大学	外国語学部	英米語学科	1	1
追手門学院大学	心理学部	心理学科	1	1

# 高 I 社会人講演会

12月17日(金)、9名の講師をお迎えして仕事や社会人についてのお話を伺いました。約2カ月前からスタートした各分科会の準備・運営は、役員生徒を中心に生徒たち自身によって行われました。講演会当日、講師の先生方は仕事への情熱やこだわり、やりがいや魅力、厳しさなどを余すところなく語っていただきました。いきいきとお話しされるそのお姿は、進路選択の時期を迎えた高校 I 年生たちに将来への示唆や大きな希望を与えてくださいました。



## 講師の先生方

講師	講師の先生の職業	講演内容
荒川 共生	旅行会社マイチケット・スタッフ	つながりを見つけよう～国際協力に求められる視点と態度
岩岡 沙代	中電病院整形外科病棟主任	感動は現場でおきている!!～看護を通して心がふるえる瞬間
宇佐川 善久	(有)ケー・サヴール オーナーシェフ	生き方は考え方しだい
加藤 正巳	(株)河合楽器製作所技術担当	道はない 歩くところが 道になる
田中 一範	田中倉庫運輸(株)代表取締役	志高く
田中 千秋	田中法律事務所 弁護士	成せば成る
福田 由美子	広島工業大学工学部建築工学科教授	建築を作るということ、考えるということ
松尾 康志	楽しい株式会社&株式会社メリーズ・ジャパン代表取締役	お客様に喜ばれて楽しい、社会に貢献して楽しい、儲かって楽しい会社です!
山田 晃三	GKデザイン総研広島取締役社長	生きている誰もがデザインしている～DESIGNの世界を知ろう

(敬称略)

# 各賞受賞

## ■第78回 全国書画展覧会

【筆都大賞】[7名]  
大湊 佑希乃(1-4)・吉本 藍(1-5)・内海 翔(2-2)・胡子 一也(2-5)・小川日菜子(3-3)・荒川 祐江(3-6)・倉本 真里(3-6)  
【特選】[73名] 【金賞】[114名]  
【銀賞】[300名] 【銅賞】[155名]

## ■平成22年度 JA共済 広島県小中学生 書道交通安全ポスターコンクール

【全共連広島県本部長賞】  
広島県ベスト3位/水島 淑華(1-3)

## ■第44回 中学生の税についての作文

【広島市長賞】緒方 佑奈(1-2)  
【廿日市税務署長賞】藤原 龍馬(2-1)・中村 安那(1-3)

## ■第2回 税に関する絵はがきコンクール

【大竹市部長賞】藤原 龍馬  
【入選】光野 萌(2-2)

## ■NRI学生小論文コンテスト2010

【佳作】榎 真菜華(1-1)  
【第58回 青少年読書感想文全国コンクール】  
【中学生の部 入選】真田 桃奈(3-1)  
【高校生の部 佳作】川本 歩(1-2)・京極 千愛(1-2)  
【第5回『もっと明鏡』大賞】  
【優秀賞】山崎 彩夏(1-4)  
【平成22年度 広島市児童生徒発明くふう展】  
【広島市教育長賞】  
ペットボトル 分別前にひと仕事/平野 允彬(2-2)  
【広島商工会議所会頭賞】らく傘/坂本 夏帆(2-1)  
【広島市PTA協議会長賞】包帯巻き取り機/山手 敦史(2-4)  
【中国新聞社賞】エサ自動供給装置/池本 拓巳(2-2)  
【発明協会広島県支部長賞】  
スチールウール式点火具/大下 亮太郎(2-2)  
【増本量賞】追っかけソーラー君/宮内 悠暉(2-3)  
【熊平源蔵賞】ひったくり防止かばん/吉和 秀晃(2-4)

## ■第54回 広島県科学賞

【準特選 広島県教育委員会賞】  
ビタミンCの変質を防ぐための条件についての研究  
/河井 智弘(3-1)・秦 曆(3-4)  
未来の乗り物「魚ロボット」の研究/亀崎 理生(1-1)  
【入選 広島県教育委員会賞】[27名]

## ■第60回 広島県統計グラフコンクール

【特選 NHK広島放送局賞】三澤 菜里子(II-4)  
【入選】田部 優(II-2)・菅 葉奈(II-2)・浅野 友那(II-4)  
岡田 櫻子(II-4)

## ■第10回 中国新聞みんなの新聞コンクール 新聞切り抜き作品部門

【入選】三澤 菜里子  
【佳作】田部 優・鈴木 桃(II-2)・小川 愛葉(II-3)  
内匠 杏奈(II-5)

# CLUB NEWS

## 高校陸上部

●第49回広島県高等学校新人陸上競技選手権大会  
日時:平成22年9月18日(土)・19日(日)  
成績:男子走り幅跳び 長谷川 貴大(II-2) 第4位  
200m 長谷川 貴大 第3位  
男子走り幅跳び 渡邊 浩陽(1-3) 第7位

## 高校軟式野球部

●第55回秋季広島県高等学校軟式野球大会  
日時:平成22年10月16日(土)・23日(土)・24日(日)・30日(土)  
成績:準優勝

## 高校卓球部

●第56回広島県高等学校新人卓球選手権大会(団体)  
日時:平成22年11月20日(土)・21日(日)  
成績:男子団体(B級) ベスト16

## 中学サッカー部

●平成22年度第59回広島市中学校総合体育大会(サッカーの部)  
日時:平成22年8月26日(木)・28日(土)  
成績:ベスト8

●平成22年度広島市中学校サッカー新人大会  
日時:平成22年11月14日(日)  
成績:ベスト16

## 中学軟式野球部

●平成22年度広島市中学校新人軟式野球大会  
日時:平成22年11月6日(土)  
成績:ベスト16

## 中学陸上部

●第59回広島県中学校総合体育大会陸上競技の部  
日時:平成22年9月25日(土)・26日(日)  
成績:男子100m 角山 巧(3-5) 第2位  
池内 雅貴(3-2) 第3位  
男子200m 角山 巧 第1位  
池内 雅貴 第3位  
男子800m 河野 貴大(3-1) 第6位  
男子4×100mリレー  
椎原 尚也(3-5)・池内 雅貴・角山 巧・恵良 昂平(2-6) 第1位

## ●平成22年度広島市中学校新人陸上競技大会

日時:平成22年10月30日(土)・31日(日)  
成績:一部男子100m 恵良 昂平 第3位  
一部男子200m 恵良 昂平 第2位  
有田 竣哉(2-6) 第5位  
男子400m 平江 瑞基(2-4) 第8位  
男子110mハードル 有田 竣哉 第5位  
男子4×100mリレー  
平江 瑞基・恵良 昂平・城本 将臣(2-4)・有田 竣哉 第1位  
男子総合 第4位

## 中学卓球部

●平成22年度広島市中学校新人卓球大会佐伯区大会  
日時:平成22年12月11日(土)・12日(日)  
成績:男子団体 Aチーム 第3位 市大会出場  
男子個人 野田 圭人(2-5)・迫本 竜也(2-6) ベスト16 市大会出場  
女子個人 井之村 悠布(1-1) ベスト8 市大会出場

## 中学硬式テニス部

●平成22年度広島市中学校新人テニス大会  
日時:平成22年11月6日(土)・7日(日)  
成績:男子団体戦 優勝  
個人戦 男子シングルス  
武久 翔悟(2-4) 準優勝  
第1位  
丸石 拓海(1-2) 第3位  
女子シングルス 柴田 美紅(2-5) ベスト8  
男子ダブルス  
中村 俊文(2-2)・山崎 将(2-1) ベスト8  
女子ダブルス  
稲垣 日向子(2-4)・小田 真純(2-4) ベスト8

## 中高バトン部

●第27回マーチングバンド・バントワーリング  
中国大会コンテストの部  
日時:平成22年11月7日(日)  
成績:高等学校の部 銀賞  
中学校の部 金賞

## 中高ボランティア部

●財団法人 ソロブチミスト日本財団  
社会ボランティア賞 青少年の部受賞